

授業科目	言語発達障害Ⅳ（評価法－各論）				
担当者	齋藤典昭・川畑武義				（オムニバス）
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

### ■ 授業目的・内容

- ・「言語検査」である「国リハ式< S-S 法>言語発達遅滞検査」を学ぶ（齋藤）
- ・WISC-V の概要と検査結果の見方の基礎を学ぶ（川畑）
- ・K-ABC II の概要と検査結果の見方の基礎を学ぶ（川畑）
- ・言語発達障害Ⅲで学んだ新版 K 式発達検査2020を用いて学生同士（ロールプレイ）で検査を実施し、報告書を作成する（川畑）

### ■ 到達目標

1. 検査の概要を述べることができる（齋藤）
2. 検査を実施することができる（齋藤）
3. 検査サマリーを作成できる（齋藤）
4. WISC-V の概要と実施・評価についての基礎知識を習得する（川畑）
5. K-ABC II の概要と実施・評価についての基礎知識を習得する（川畑）
6. 新版 K 式発達検査2020の結果とその他の情報を統合し報告書にまとめることができる（川畑）

### ■ 授業計画

- 第1回 「国リハ式< S-S 法>言語発達遅滞検査」検査用具に触れ、検査項目との関係を知る（齋藤）
- 第2回 「国リハ式< S-S 法>言語発達遅滞検査」段階3-2の検査項目、DVD 教材視聴（齋藤）
- 第3回 「国リハ式< S-S 法>言語発達遅滞検査」段階4-1, 4-2, 5-1, 5-2の検査項目、記録用紙への転記（齋藤）
- 第4回 「国リハ式< S-S 法>言語発達遅滞検査」段階2の検査項目、コミュニケーション態度の評価、DVD 教材視聴（齋藤）
- 第5回 「国リハ式< S-S 法>言語発達遅滞検査」提出課題の説明、サマリー作成演習（齋藤）
- 第6回 「国リハ式< S-S 法>言語発達遅滞検査」サマリー作成課題、関連検査の紹介（齋藤）
- 第7回 WISC-V の概要（川畑）
- 第8回 WISC-V の実施手順と結果の見方（川畑）
- 第9回 K-ABC II の概要（川畑）
- 第10回 K-ABC II の実施手順と結果の見方（川畑）
- 第11回 新版 K 式発達検査2020 実技演習①（川畑）
- 第12回 新版 K 式発達検査2020 実技演習②（川畑）
- 第13回 新版 K 式発達検査2020 実技（川畑）
- 第14回 新版 K 式発達検査2020 プロフィール作成演習（グループワーク）（川畑）
- 第15回 新版 K 式発達検査2020 プロフィール作成演習（川畑）

### ■ 評価方法

川畑担当・齋藤担当、合わせて100%で評価する。  
 齋藤担当分については課題提出物50%で評価する。  
 川畑担当は、実技演習実施後の課題提出物50%で評価する。

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

- ・「言語発達障害学第2版」医学書院 p198-p216< S-S 法>の部分を読んでおくことが望ましい。（齋藤）
- ・新版 K 式発達検査2020の講義については、言語発達障害Ⅲ（評価法-基礎）の内容と検査マニュアルを復習し、実際の検査場面の記録と結果処理の仕方（採点や計算など）を確認しておいて下さい。演習は検査を実施する学生と検査用紙に記載する学生に分けます。実施する学生については、事前に担当教員と相談をして下さい。（川畑）

## ■ 教科書

書名：標準言語聴覚障害学 言語発達障害 第3版  
著者名：藤田郁代 監修  
出版社：医学書院

## ■ 参考図書

書名：新版 K 式発達検査2020実施手引書  
出版社：京都国際社会福祉センター

---

書名：標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第2版  
著者名：藤田郁代 監修  
出版社：医学書院

## ■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。